

## 4 / 2 3 中間取りまとめ（案）に対する委員の主な意見とその対応状況

### 第2章 現状のさらなる分析と考察

- 環境にあった教育風土をつくることや、目標を持って一生懸命頑張ることの必要性の記載が必要。  
⇒P 3 1、3 2に記載

### 第3章 今後の教育振興の方向性

- 「学校」「家庭」「地域」「行政」の並びについて  
⇒「教育委員会」「学校」「家庭」「地域」に変更

### 第5章 基本方針に基づく今後5年間の具体的な施策

- 体を使って遊ぶことを推進できないか。  
⇒P 4 5に記載
- 基本方針では乳幼児期だが、施策の中には保育所・幼稚園となっている。保育所・幼稚園に行っていない子どもの取組はどうするのか。  
⇒すべての人を対象とした子育て支援アドバイザー派遣事業（P 5 2）等に対応
- 中山間地域における教育の連続性は、県立学校の存続にも関わる問題。この計画に記載が必要。  
⇒P 6 5に記載
- 採用の在り方について見直しや検討が必要  
⇒P 6 7に記載
- 教員はマネジメント力が弱いことに対する研修の必要性や実践につなげる研修の工夫が必要。  
⇒P 6 9で記載
- 多忙感についての記載が必要ではないか。  
⇒P 4 0、7 1「基本方針9」に記載
- P D C Aサイクルが教職員の意識改革にもつながることの記載が必要ではないか。  
⇒P 6 9「基本方針9」に記載
- 県教委、地教委、教育関係機関との連携やネットワークを強化する必要がある。  
⇒P 4 1「基本方針10」に記載
- 第5章の「方向性」は重要なので、目立つように工夫してはどうか。  
⇒具体的な施策レイアウト変更「方向性」「主な取組」を枠で囲むよう変更
- この計画は、全体的になり特徴が見えなくなる。どこかでめりはりをつけることが大事。例えば、キャッチフレーズだとか重点的なところは太字にするというような工夫が要る。  
⇒基本方針ごとの境紙に「重点的な取組」を記載
- 年度別実施計画で、従来から取り組んできた内容と新しく取り組む内容の区分けが必要。  
⇒年度別実施計画「取組・事業名」に新しく取り組むものに**新**と記載

### その他

- 秋田県の11か条のような簡単な呼びかけを発信したらどうか。  
⇒P T Aとの連携事業や生涯学習フェスティバル、振興計画パンフレット等で検討
- 「高知県の子どもの体力（体力テスト）は四国で1番」を目標に掲げてはどうか。  
⇒さらに分析・検証する必要があるため記載は見送り